

**HUMANE
INTERNATIONAL
NETWORK
(HINT)**

—————HINT News Letter No. 59 目次—————

- Page1: HINT 創設 30 周年記念募金のお願い
Page2: ご挨拶——創設 30 周年にあたって
Page3-4: 2023-24 アフリカ奨学生名簿
Page5-6: 短 信
Page7: 会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿
HINT 事務局からのお願い
Page8: HINT 事務局からのお知らせ

HINT 創設 30 周年記念募金のお願い

アフリカに PC（スマートフォン）を贈呈

SNS を活用して現地・奨学生からの直接発信を目指します。

ファンドレイジングへのご協力をお願いします。

目標額 1,100 ドル（日本円約 170,000 円）

（スマートフォン購入費用 600 ドル+年間維持費 500 ドル）



HINT(特活) ヒューメイン・インターナショナル・ネットワークは、1994年に発生したアフリカのルワンダ虐殺時の難民支援のために創設された2002年東京都認証のNPO（非営利活動）法人です。国を超えた隣人愛を示されたイエス・キリストの教えにしたがって、開発途上国における教育や保健医療、農村開発などを通じて、国境を超えた支援活動を続けています。息の長い継続が必要な奨学金運営には29年以上の実績があり、キリスト教会やNGO団体との連携を活かしつつ、貧困状態が続く地域で多くの人材と希望を育てています。

ご挨拶——創設 30 周年にあたって

代表 進藤重光

1994年のHINT創設以来、30年の長きにわたり、コンゴ民主共和国（以下、コンゴと略）やベトナムの奨学生のために、常に温かいご支援ご協力を賜り、役員・スタッフ一同を代表し心より御礼と感謝を申し上げます。新しい奨学生たちも、皆さまからいただいたチャンスを生かすために懸命に頑張っております。

ご承知のようにコンゴは、鉱物資源の宝庫と言われてきました。しかし、この地の利権を得るために長い間植民地となっていたことや、内戦や国際紛争の影響で国力は低下の一途をたどり、1人あたりの国民総所得(GNI)は653.7ドル、失業率は4.5%で依然として貧困国です。

初等教育（小学校）6年、前期中等教育（中学校）2年が義務教育ですが、公立の学校であっても教師の給与や施設費など、ほとんどすべての経費が親の負担となっているため、当然のことながら、こうした中で高校や大学まで通える生徒は非常に限られた子どもたちだけと言えます。

加えて、日本ではほとんど報道されていませんが、コンゴは世界で最も深刻な食料危機に直面している国のひとつです。国連世界食糧計画（WFP）は次のように報告しています。

「総合的食料安全保障レベル分類（IPC）によると、イトゥリ州の東部、北キブ州、南キブ州3州では670万人が、全国で推定2580万人が人道的危機レベルまたは急性の食料不安に直面しています。国内避難民（IDPs）の数はおよそ630万人で、特にイトゥリ州、北キブ州、南キブ州に集中しています。この3州では、2022年3月以降280万人、2023年1月以降100万人が家を追われ、現在560万人が国内避難民となっています」。

今、世界各地で起きている悲惨な戦争や虐殺を止めるために、一人ひとりができる支援や働きかけを続けることは喫緊の課題です。と同時に、数千万単位での人々が飢えに直面しているという深刻な状況も、危機感をもって直視する必要があるのではないのでしょうか。

私たちの活動は小さな努力の積み重ねの連続に過ぎませんが、それでも、コンゴ現地の子どもたちにとっては大きな意味がございます。彼らからの手紙には、「戦争で親は職を失い、学費がなかった自分でも夢を抱けた」「一生懸命に勉強して、将来は人を助ける医療従事者になりたい」などと述べられており、未来への希望と感謝の言葉で溢れています。どうか、この子どもたちの夢をかなえるために、皆さまの温かいご支援ご協力を、引き続き賜りますよう、よろしくお願いいたします。

創設 30 周年記念募金のお願い

皆さまのおかげさまをもちまして、HINT は今年のクリスマスで創設 30 周年を迎えます。

この慶事に、アフリカ・コンゴ民主共和国の現地コーディネーターに **PC(スマートフォン)** を贈りたいと願っております。Facebook や X を活用して、現地から直接、情報発信をしてもらうことが目的です。どうかこの機会に、大変恐縮ですがファンドレイジングとして、いつもいただいている会費に加え、**30 周年の節目の年に、いつもよりも多めに募金をお願いできれば大変感謝でございます。**

お振り込みは同封の振込用紙を使用しただくか、下記口座へお振込みくださいますようお願いいたします（賛助会員：1口5,000円から・学生会員：1口2,000円から。ご寄付の場合はご随意にお願いいたします）。

■郵便振替：00120-1-596327

口座名義：特定非営利活動法人 HINT

■ゆうちょ銀行：

記号 10010 番号 26990711

（他銀行から振り込む場合 店名：008

種目：普通 番号：26990711）

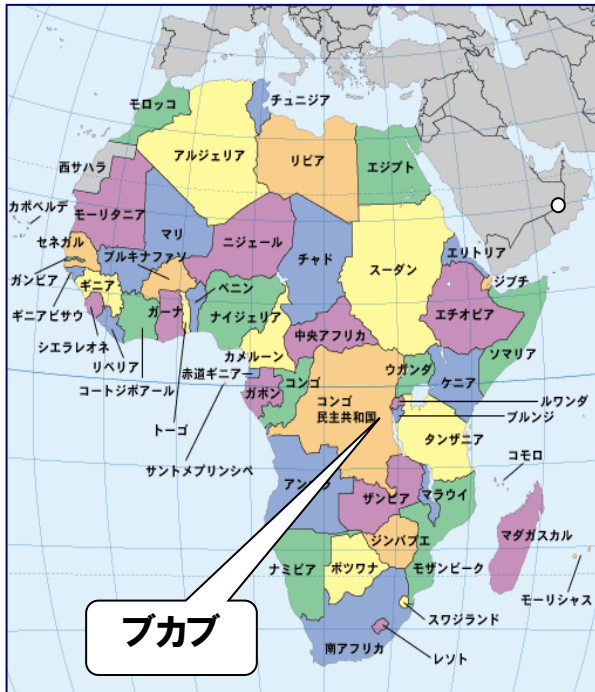
口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

■三井住友銀行：新宿支店

普通預金：3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

2023-24 アフリカ奨学生名簿



奨学生が住んでいるブカブは、コンゴの東部地域、キブ湖を挟んで、ルワンダやブルンジにも近い国境付近に位置しています(注・スーダン共和国は2011年に南スーダン共和国と南北で分割されました)

小学生リスト (個人情報保護対応)



新奨学生 (上) と卒業生 (下/右から二人目)



LIST OF STUDENTS

SCHOOL YEAR: 2023-2024
LEVEL : PRIMARY SCHOOL

N°	NAME AND SURNAME	SEX	DATE OF BIRTH	SCHOOL NAME	FORM	OBSER
01	Agat	F	/2015	E.P 2 IBANDA	4° C	
02	Emed	M	/2013	C.S TUPENDANE	5° A	
03	Fely	F	/2014	E.P 2 IBANDA	5° B	
04	FURA	F	/2014	CS LA REJOUISSANCE	5° A	
05	Jacob	M	/2016	CS LA REJOUISSANCE	3° A	
06	RAM	M	/2012	E.P LA SAGESSE	6° A	
07	SENG	M	/2014	E.P MATUNDA	6° A	
08	SENG	M	/2015	E.P1 MUHUNGU	5° B	

Done at Bukavu on 3rd November 2023

Dr. MUSAGHI IDUMBO Allen

PROGRAMME MANAGER

Mrs. WATAKISI WANGHA Myriam

HAP DRC COUNTRY COORDINATOR ASSISTANT

中・高校生リスト（個人情報保護対応）

Humane International Network
HINT AFRICA PROJECT
DR-CONGO, BUKAVU PROGRAMME

LIST OF STUDENTS

SCHOOL YEAR: 2023-2024

LEVEL : HIGH SCHOOL

N°	NAME AND SURNAME	SEX	DATE OF BIRTH	SCHOOL NAME	FORM	OBSER
01	ADRIK	M	/2009	EDAP/ISP	2 ^e HSCB	
02	Alice B	F	/2006	C.S LA SAGESSE	1 ^{er}	
03	ANSIM	F	/2010	C.S MATENDO 2	8 ^{ème} EBB	
04	ASSUM	M	/2011		7 ^{ème} EBB	
05	BAVEN	F	/2011		7 ^{ème} EBB	
06	Bénédi	F	/2011		7 ^{ème} EBB	
07	Bonhe	M	/2010	C.S MATUMAINI	8 ^{ème} EBB	
08	BUTW	M	/2005	INSTITUT D'IBANDA	4 ^{ème} HSC	
09	Elisabe	F	/2009	C.S BON BERGER	8 ^{ème} EBB	
10	FAIDA	F	/2009	INSTITUT MUTAMBALA	1 ^{er}	
11	Gérard	M	/2003	INSTITUT KALUMBWA	4 ^{ème} HTS	
12	Honor	F	/2009	INSTITUT BORA	1 ^{ère}	
13	Jordan	M	/2004	C.S LA FONTAINE	4 ^{ème} HTS	
14	Kalebe	M	/2010	COLL. TCHNQ ST. ANNE	8 ^{ème} EBB	
15	KALAN	M	/2008	INSTITUT D'IBANDA	2 ^{ème} HSC	
16	Lucia M	F	/2007	C.S BON BERGER	1 ^{ère}	
17	LUSEM	F	/2007	C/S LA PAIX	1 ^{ère}	
18	LUZINI	M	/2006	EDAP/ISP	3 ^{ème} HSC	
19	MAHA	F	/2008	C.S ETOILE	2 ^{ème} HSC	
20	MBILA	F	/2008	EDAP/ISP	2 ^{ème} VET	
21	Moniq	F	/2007	C.S BASHIKA	8 ^{ème} EBB	
22	MUNG	M	/2007	INSTITUT FARAJA	4 ^{ème} CGB	
23	MUSSA	M	/2011	INSTITUT FURAHA	8 ^{ème} EBB	
24	MUZIG	F	/2010	INSTITUT NIDUNGA	8 ^{ème} EBB	
25	MUZIG	F	/2008	C.S MATUMAINI	2 ^{ème} HTS	
26	NYOTA	F	/2005	C.S KIKYAS	4 ^{ème} HTS	
27	Rosett	F	/2010	EDAP/ISP	8 ^{ème} EBB	
28	SALAM	F	/2005	C.S LUMIERE	3 ^{ème} HTS	
29	SIFA M	F	/2008	C.S MATUMAINI	2 ^{ème} HTS	
30	Suzan	F	/2007	INSTITUT BORA	3 ^{ème} SA	
31	Vanes	F	/2008	C.S LA SINCERITE	3 ^{ème} HP	
32	Victori	F	/2010	INSTITUT FARAJA	1 ^{ère} HTS	
33	VUMIL	F	/2006	INSTITUT MUTAMBALA	4 ^{ème} HP	
34	MUSH	M	/2012		7 ^{ème} EBB	
35	Nicole	F	/2012	C.S KIKYAS	7 ^{ème} EBB	
36	SHIND	M	/2012	INSTITUT FARAJA	7 ^{ème} EBB	

Done at Bukavu on 3rd November 2023

Dr. MUSAGHI IDUMBO Allen

PROGRAMME MANAGER

Mrs. WATAKISI WANGHA Myriam

HAP DRC COUNTRY COORDINATOR ASSISTANT

Addresses : 30, Avenue Inga, Commune de Kadutu, Bukavu, Sud-Kivu, RDC

E-mail :mutawahd@yahoo.fr – Tel : (+243) 812513197 – (+243) 9976044662 – (+243) 81 88 31 840

短信：東部イトゥリ州で暴力再燃

コンゴ民主共和国（以下、コンゴと略）東部のイトゥリ州で2月中旬以降、武装グループによる暴力が再燃し多数の死傷者が出ている。同地では半年以上にわたり平穏が続いていたが、民間人に対する予測不能な激しい暴力が繰り返し発生している。

国境なき医師団（MSF）は州東部ブニアのサラマ病院を支援し、外科治療センターを運営。暴力の被害に遭った住民らに外科手術や術後ケアを提供している。



イトゥリ州ブニアにあるMSFの外傷・整形外科治療センターで手術を終えた患者を担架で運ぶ医師
＝2023年8月19日 © MSF

■コンゴ：東部イトゥリ州で暴力が再燃——民間人への襲撃相次ぐ

コンゴにおけるMSFの活動責任者ハリドウ・アリラは「ここ半年ほどは比較的平穏でしたが、最近になって武力攻撃が再び急増し、多くの犠牲者を出しています。イトゥリは予測できない激しい暴力の支配下にあり、市民が攻撃の矢面に立たされています」と指摘する。

イトゥリ州では数十年にわたる紛争により、人口の3分の1に当たる163万人以上が家を追われ、避難生活を余儀なくされている。生計や地域社会から切り離され、長期にわたる避難生活は困難を極めている。

2023年6月から12月にかけて、MSFはサラマ病院で863人の患者を治療し、838件の外科手術を実施した。MSFが治療した患者の3分の1は、

暴力の直接の被害者であり、そのなかには女性や子どももいた。患者はナタなどの各種凶器による傷を負っていた。

ある2歳の患者の母親は「ドロドロという地域にある村で、武装グループの攻撃に遭いました。祖母と連れ立って逃げていましたが、私の娘を抱っこしていた祖母は追っ手を振り切れず、取り押さえられ、ナタで腕を切り落とされました。娘が恐怖で泣き叫ぶと、武装グループはナタで殺そうとしたのです」と振り返った。

■MSFの外傷・整形外科治療センターで輸血を受ける患者＝2023年8月19日 © MSF

サラマ病院のMSF外傷・整形外科治療センターには、合計45床のベッドがあり、長引く紛争の影響を受けているイトゥリ州の住民にとって重要な医療拠点となっている。

医療チームは、複雑な外傷手術だけでなく、やけど患者の治療や、理学療法、心の健康相談などの受傷後のケアも行っている。州内では交通事故の被害者も多いが、専門医による治療体制が不足しているため、同センターが受け入れている。

センターは患者の救命にとどまらず、患者が生涯直面する可能性のある機能障害の軽減にも寄与している。

MSFの医療コーディネーター、パトリック・ンクメナン医師は「イトゥリにおけるMSFの医療活動は、同州で最も弱い立場にある人びと、特に医療へのアクセスが非常に困難なへき地の人びとのニーズに対応するものです。

ブニアの基幹病院の受け入れ態勢には限りがあり、住民のニーズを満たすには不十分です。だからこそ、不安定な治安状況の中で、MSFが誰もがアクセスできる追加の外科医療体制を設けることが重要なのです」と強調する。

現地の医療インフラを強化し、医療の質を向上するため、MSFは現地の医療スタッフの研修、生物医学機器の品質向上、紹介制度の支援、医療機器の寄贈、医療インフラの構築も行っている。また、基幹病院も支援している。



MSFの外傷・整形外科治療センターで輸血を受ける患者=2023年8月19日 © MSF

■コンゴにおけるMSFの活動

MSFはコンゴで40年以上にわたって活動。現在は、国内26州のうち20州でプロジェクトを運営し、紛争や暴力の被害者、避難民、はしか、コレラ、髄膜炎、HIVなどの感染症患者に医療を提供している。また、新たな感染症流行や自然災害、紛争に備えた緊急対応チームも待機させている。

イトゥリ州では、ブニアでの活動に加え、ドロドロとアングムで、保健省の病院2カ所、医療施設12カ所、前線付近にある簡易診療所3カ所、地域医療現場20カ所を支援。主に栄養失調、マラリア、一般的な小児疾患の治療、性暴力の被害者のケアや心のケアに当たっている。(国境なき医師団/2024年2月26日付のプレスリリースより抜粋)

短信：避難住民数千人が病院に

アフリカ中部コンゴ民主共和国（以下コンゴと略）の北キブ州で、激化する戦闘を逃れようと数千人が病院に殺到し、対応が追い付かない状況になっている。国際医療支援団体の国境なき医師団が明らかにした。

■避難の住民数千人が病院に殺到、コンゴで戦闘激化

同国東部北キブ州(首都ゴマから約100キロ)にあるムウェソ病院には現在、子どもを含めて少なくとも2500人が避難している。医療施設に

は戦争で負傷した患者が次々に運び込まれているという。「病院は手に負えない状態になっている。戦闘から何とかして逃れようと院内に数千人が詰めかけている。我々は保健省とともに全員を助けようと手を尽くしているが、食料など必要な物資が足りない」。国境なき医師団の調整員はそう語った。

コンゴでは国軍と反政府武装組織 M23 の戦闘が再び激化したことを受け、多数の市民が避難している。支援団体のセーブ・ザ・チルドレンは8日、この1週間で子ども7万8000人を含む少なくとも15万人が自宅からの避難を強いられたと発表した。

このほど現地を訪れた国連のジャンピエール・ラクロワ平和活動担当事務次長は M23 に対し、即刻攻撃を停止するよう要求した。

国連コンゴ安定化ミッション (MONUSCO) の部隊は年内に同国からの撤退を完了する。国連部隊に対しては、M23 などの武装勢力を抑えられなかったとして、撤退を求める抗議デモが続いていた。

国境なき医師団によると、北キブ州では2022年3月以来、武力衝突が激化して100万人以上が住む家を追われ、人道危機的状況に陥っている。(CNN/2024年2月9日付より抜粋)

(事務局注：英語表記のKIVUは、日本語表記「キブ」で統一しました。)



(©ユニセフ「世界の子どもたち」より)

会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿

(2023. 11. 1-2024. 4. 30・順不同・敬称略)

禹 満	進藤 重光
高橋 章	比嘉 勇也
国分 一也	グエン・テ・ホン
東矢 高明	窪田 愛子
中本 裕之	古城 かほる
谷口 義武	森川 浩一郎
カトリック松原教会	神山 和美
酒井 匠	桃井 和馬
狩野 繁之	市川 幸一
安達 裕美	西嶋 久恵
池田 ゆう子	山田 篤
武田 知子	安藤 秀樹
石原 達哉	村井 厚子
藤枝 伊都子	高澤 佳代乃
安藤 和彦	野坂 俊弥
匿名の皆様	

ご支援・ご協力ありがとうございました。

★左記期間内に会費納入やご寄付をされている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

★HINT は皆さまの会費で運営されています。年会費 5,000 円で、ベトナムでは約 500 人分の給食を提供できます。コンゴで中高生約 2 人分の 1 年間の学費です。

★封筒ラベルの一番下にある日付が、最後にお振り込みをいただいた直近のお振り込み日となります。

★郵便局の振込金受領書は、正式な領収書ですので、大切に保管してください。

★振替用紙は郵便局から事務局にコピーが届きますが、判読しづらい場合があります。楷書で分かりやすくご記入いただきますとたいへん助かります。

★特別なご支援（特定寄付）の場合は、その旨をお知らせいただくと幸いです。

HINT 事務局からのお願い

会費振込のお願い

皆さまの会費やご寄付が命綱です。お振り込みは同封の振込用紙を使用していただくか、下記口座へお振込みくださいますようお願いいたします（賛助会員：1 口 5,000 円から・学生会員：1 口 2,000 円から。ご寄付の場合はご随意にお願いいたします）。

■郵便振替：00120-1-596327

口座名義：特定非営利活動法人 HINT

■ゆうちょ銀行：

記号 10010 番号 26990711

（他銀行から振り込む場合 店名：008

種目：普通 番号：26990711）

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

■三井住友銀行：新宿支店

普通預金：3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

● 2024 年度の役員・ボランティアを募集します

2024 年度の HINT 役員とボランティアを募集しています。非営利活動を支えるのは、皆さまからの大切な会費収入と同時に、日々の小さな事務作業の積み重ねです。役員は総会で選任され、定期的な理事会に出席し、HINT の実務的な業務をしていただきます。

印刷作業や荷物運び、翻訳などのテンポラリーなボランティアの仕事もあります。登録ボランティアとして、メールアドレスをご登録いただき、ご都合のつく時に、実務的な作業に随時ご協力いただければ幸いです。皆さまからの温かいお申し出をお待ちしています。

ご連絡・お問い合わせ先：HINT 事務局

E-mail: hint_info@epopee.co.jp

HINT 事務局からのお知らせ

《HINT総会のお知らせ》

日時：2024年6月29日(土)14:00~15:00

場所：新宿区新宿区戸塚地域センター
集会室2

住所：東京都新宿区高田馬場2-18-1

TEL：03-3209-8001（下記案内図参照）

アクセス：JR・西武新宿線「高田馬場駅」下車徒歩3分

2024年度のHINTの総会を開催いたします。
議題：2023年度活動報告、2023年度決算、2024年度役員改選、2024年度活動計画、2024年度予算計画等。

どなたでもご参加いただけます。HINTの活動について、ご関心のある方は是非おいください。事前のご連絡は不要です。

総会後に、楽しい懇親会（参加自由）を予定しております。

- 2023年12月17日(日)に講演会を開催しました(於・カトリック松原教会)
「コンゴの子どもたちの現状」

オノレ・カブンディ師



第44回エポペのクリスマス記念ミサの後で、オノレ師（淳心会）から現地の様子を伺いました。その要旨を掲載いたします（文責：編集部）。

私が生まれたコンゴ民主共和国では、今も戦争が絶えません。子どもが兵隊にとられ、少年兵になるということもあります。この状況を改善できるのは、私も皆さまと同じように地道な教育活動からだと思っています。継続的に私が支援に訪れている子どもたちのための施設をご紹介します。実はこの三年間、新型コロナウイルス感染症のため、支援が滞っている状態です。この施設にいる子どもたちの多くは、戦争によって親を失った子どもたちです。中には歩くことが不自由な障がいを持った子どもたちもいますが、お金がないために車椅子を買ってあげることができません。適切な補助具・介助具があれば、生活の支障がないようにして勉強をすることができますが、手作りの介助具で補っている状況なのです。戦争によって避難民となる家族も大勢いますが、世界のメディアではなかなか報道してくれないのです。どうか、この地に生きる人たちのことを忘れてないで欲しいと思います。



新宿区戸塚地域センター（地図）

特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク（HINT）事務局
〒164-0002 東京都中野区上高田 5-43-1 グリーンビル 2F 平兵衛√2 内
電話&FAX: 03-6336-9624
e-mail: hint_info@epopee.co.jp
ホームページ: <http://www.epopee.co.jp/hint>